

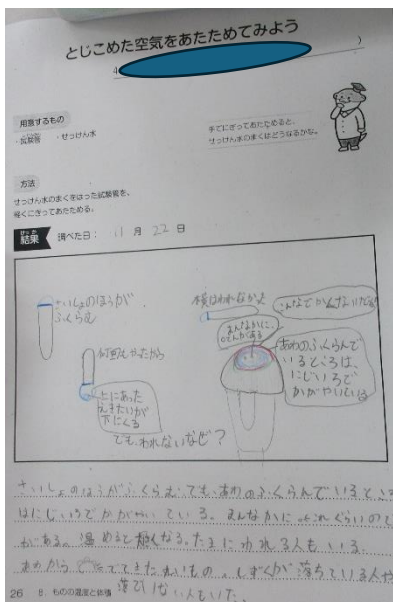
11月22日(金) 学校生活

【与えられる側ではなく、与える側になる】

誰かが作ったものに(与えられたもの)時間を費やしていると思いませんか。自分で生み出したものは何かあるか考えてみましょう。生み出したものが何か、何を誰に提供できるか、自分ができていることを積極的に探せるといいですね。わたしたちは、子どもたちに何を提供するために生み出しているでしょう。



空気を温めるとどうなるのか実験しました。
 1つ目は、石鹼水に試験管の口をつけて手の熱をギュッとすると膨らんだことに「え？え？膨らんだ！なんで。なんで。」
 2つ目は、フラスコに差したガラス棒にゼリーを入れて、お湯に入れるとゼリーが上へ、氷で冷ますと下へ動く様子が面白く





家庭科の時間に、ミシンの学習をしていました。
糸を立てるところから始まり、糸掛け・・・「ん??どこ?どこ?どこ?どうするの?」ペアで教えあい、必死です。

上糸から下糸を絡めながら取り出していく様子を子供たちは一生懸命に見聞きしています。終わった後も「んー????よく分からない」と言った表情と素直な言葉に、先生が「もう1回やるよ。もう1回やるからよく見といてよ」再度先生の手つきをじっくり見る子どもたちでした。

